

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

いったん起きてしまったことを、元にもどすことはできないのです。古い言葉で、

「覆水盆に返らず」^{ひくすいぼん}

というのがあります。古代の中国の話ですが、ある男の妻が無能でうだつのあがらない夫にアイソウをつかして家を出てしまった。ところが意外なことに後にその夫が大変出世をしたものですから、彼女は復縁を求めてその男のところへやってきました。

すると男は盆の水を地面にこぼして、この水を元にもどしたらあんたの言うことをきいてやろうと答えたという話。

なんとなく意地悪な男のような気がしなくてもありませんが、とにかく話は
 A と
 いうことです。盆から地面にこぼれた水だけではありません。

あらゆるものは二度と元どおりにはならない。ぼくはずっとそう思いながら今日まで生きてきました。そのことを忘れそうになると、自分にくり返し言いきかせるようにして（I）に銘じてやってきたのです。そして、そのことはやはりまちがいがなかった、と最近あらためて考えるようになりました。

ある有名な専門医の書かれた文章の中に、こんな言葉がありました。

へ一般にガンが治ったと言われるのは、ただ単にガン化した細胞が退縮したか、または進行がいちじるしく鈍化したという、どちらかに過ぎない

つまりその医師は、

へガンは治らない

と、言っているらしい。これはザンコクな言葉です。家族や友人など、身近にガンを抱えて苦しんでいる人と接している立場からすると、

「そこまで言わなくなってきたっていいじゃないか」

と、(Ⅱ)をひそめたくなる気持ちもあるでしょう。まして、その当事者ともなれば、深く傷ついたり、またショックを受けるのが当然です。

しかし、その専門医の言葉には、逆らいがたい真実味があります。ガンが完治したという表現は、一般にはある期間なんとか無事に再発せず生存していた状態に対して用いられる場合が多いようです。たとえば五年とか、そんな期間を持ちこたえて再発がみられなかったときには、〈治った〉と見なすわけですね。

それが現在の医療の世界での常識と言っているいいでしょう。しかし、トウケイ上の必要性はともかく、〈治った〉ことと、〈治ったと見なす〉ことのあいだには、^②越えることのできない大きなへだたりがあるのではないのでしょうか。

ガンを老化のひとつの現象とする考え方に、ぼくは以前から素直にうなづく気持ちがありました。人間は老いてゆく。そのことを否定することは、だれにもできません。

老いるからこそ〈老眼〉などというフユカイな現象も出てくるのです。物忘れがひどくなり、反射神経もおとろえていく。体のいろんなところに老化は目に見える形であらわれてくる。身長だって変化するのです。現にぼく自身、三十代のころと六十代で測ったときでは、一センチ以上背文がちぢんでしまっています。八十代のいまでは、もっと小さくなっていくでしょう。

パスポートに書き込んである身長は、実際よりもだいぶ(Ⅲ)を読んでいることになる。体重は逆にふえているのですから困ったものです。

(中 略)

ぼくの存じあげているご婦人で、

「あの人はお化けよ」

と、まわりの人たちに言われているかたがおられます。年齢からは考えられないくらいにエレガントで、行動的

で、そしていきいきと日々を過ごしていらっしゃる。

あのかたは永遠に年をとらないんじゃないか、とぼくは思っていました。この二十年間ずっと変わるといことがなかったからです。

しかし、先日ある知人から、そのご婦人が、このところずっとふせっておられるというニュースを聞きました。

「本当ですか」

と、思わず聞き返したのは、^③ぼくのロマンチックな夢が急にガラガラと（IV）を立てて崩れかけたような気がしたからでした。

「あのかたが、まさか——」

と、心の中でつぶやきながら、どこかで深いため息とともに、

「やっぱりなあ」

と、うなずくところもありました。

そのかたが皆が^{うわま}噂するようなへお化け^④ではなく、やはりひとりの人間として行くべき道を進んでおられるということは、考えてみれば決して淋しい^{さび}ことではありません。むしろ自然に感じられて、ほっとするところもあるのです。

肉体は老いても精神は老いない、むしろ成熟し高まってゆくのだ、という意見があります。ぼくもその考え方には一面の真理があるように思います。

たしかに老いは単なるおとろえの過程ではありません。年とともに磨^とぎすまされ、高く深く成熟していく精神もあります。

しかし、それでもなお人は元へはもどらない。高まってゆく分だけ削^{けず}られてゆくものもある。知性が高まる一方で枯れてゆく情感というものもある。

そして、そのことを正面から受けとめ、そのへ治らぬ^⑤部分を認め、Bの深い底に足を着けて着地^⑥すると

ころから新しい生を夢見ることはできないものだろうか。ぼくが考えているのは、そういうことです。

人間がへ治らない部分を抱えた存在であることを認め、そこからちがう方向への旅立ちを考えることはできないものでしょうか。

はつきり言えば、人間はみなガンを内側に抱えた存在です。おそかれはやかれ、人は死を迎えなければならぬ。そのことを素直に、そして明るく、できれば胸がわくわくするような気持ちで受けとめること。

むずかしいことですが、^⑤ぜひその髪の毛一筋ひとすじのような細い道を探してみたい。それがいま、ぼくがシンケン^eに考えていることなのです。

(五木寛之『新版 生きるヒント5』より)

問 一 〓 線部 a く e のカタカナを漢字に改めなさい。

問 二 A に入るものとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 物事を何とかして前の状態にもどしたい
- イ 物事は起こった後の状態を大切にしなければならぬ
- ウ 物事を起こす前の状態が一番よいに決まっている
- エ 物事が前の状態にもどることがむずかしい

問 三 (I) く (IV) に入る語として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

(I) に銘じて

- ア 頭
- イ 顔
- ウ 肝
- エ 体

(Ⅱ) をひそめたくなる

ア 瞳 イ 眉 ウ 心 エ 顔

(Ⅲ) を読んでいる

ア アジ イ コイ ウ タイ エ サバ

(Ⅳ) を立てて

ア 波 イ 風 ウ 音 エ 香

問 四 ——— 線部①「書かれた」の「れ」と同じ働きで表現されているものを次の中から全て選び、記号で答えなさい。

ア 天皇即位の行く末が案じられた。 イ 演奏会の指揮は先生がとられた。

ウ 指導教官に誤りを指摘された。 エ 先輩との惜別の悲しみで涙があふれた。

オ 大臣が会議に出席された。

問 五 次の文は——線部②「越えることのできない大きなへだたりがある」とはどうかをまとめたものです。ア ア ウ エ に入る適語を、指示された字数内でそれぞれ文章中から抜き出しなさい。

ア (十五字以内) ア では、ガンが完治したという表現は、一般に イ (十五字以内) ウ (五字以内) エ (十字以内) エ に対して用いられることが多いが、ウ (五字以内) エ (十字以内) エ と言っている人もいる。

問 六 ——— 線部③「ぼくのロマンチックな夢」とはどのような夢ですか。文章中の言葉を使ってまとめなさい。

問 七 ——— 線部④「ひとりの人間として行くべき道」について、

I この「道」は何に向かっているものなのかを答えなさい。

II どのような考え方から歩まれるものと筆者は考えていますか。そのことを最も的確に表現した一文

を文章中から抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問八 B に入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア あきらめ イ よろこび ウ 希望 エ 怒り

問九 ——— 線部⑤ 「その髪の毛一筋のような細い道」の中で筆者が見つつけようとしているものは何だと考えられますか。文章中より五字以内の言葉を抜き出しなさい。

問一〇 文章前半にある~~~~線部「覆水盆に返らず」は故事成語（中国の古い話からきた言葉）ですが、次の故事成語の意味を後の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- 1 漁夫の利 2 矛盾 3 五十歩百歩 4 螢雪の功 5 蛇足

- | | |
|---|---|
| <p>ア 思うがままに支配する。</p> <p>ウ 多くの中で最も優秀なもの。</p> <p>オ 見聞のせまいことのたとえ。</p> <p>キ 不要な力添えて害する。</p> <p>ケ 苦学して成功を収める</p> | <p>イ 似たり寄ったりで大差がない。</p> <p>エ つじつまの合わない。</p> <p>カ 無駄な行為、余計なもの。</p> <p>ク 第三者が利益を独占する。</p> <p>コ とるべき手段がない。</p> |
|---|---|

問一一 文章後半にある~~~~線部「着地」に対しての類義語は「着陸」ですが、次の熟語に対する類義語をから選び、漢字に改めてそれぞれ答えなさい。

- 1 理由 2 向上 3 過失 4 突然 5 対等

- | | | | | |
|----|------|------|-----|------|
| フイ | ハッテン | ゲンイン | ゴカク | シッパイ |
|----|------|------|-----|------|

受験番号		氏名		採点	
------	--	----	--	----	--

問一	a		b		c		d		e	
問二										
問三	I									
	II									
	III									
	IV									
問四										
問五	ア									
	イ									
	ウ									
	エ									
問六										
問七	I									
	II									
問八										
問九										
問一〇	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
問一一	1									
	2									
	3									
	4									
	5									

受験番号		氏名		採点	
------	--	----	--	----	--

⑮	1	原因	3点×5							
		2		発展						
		3		失敗						
		4		不意						
		5		互角						
⑮	1	新しい生	3点×5							
		2		ク						
		3		エ						
		4		イ						
		5		ケ 力						
④	ア									
④	II	おそかれは								
③	I	死								
5	筆者の知つている婦人は永遠に年をとらないという夢。									
⑫	エ	ガンは治らない	3点×4							
	ウ	専門医								
	イ	再発せず生存していた状態								
	ア	現在の医療の世界での常識								
⑥	イ・オ									
⑰	I	ウ	3点×4							
		エ		イ						
		イ		エ						
		II		ウ						
④	工									
⑮	a	愛想	b	残酷	c	統計	d	不愉快	e	真剣

3点×5

3点×4

3点×4